

4事業を実施した ①国際塾 ②懸賞論文 ③グローバルゼミ ④ESD Café URA

NPO 法人 こくさいこどもフォーラム岡山

活動の目的

グローバル人材の育成
(中高生がグローバル人材となるための学びの場を提供する。)

活動の内容及び経過

1. 国際塾 6月～10月にかけて、教室では学べないテーマを選定し、合計11回の講義を開催。講師は、主として県内在住の各界の有識者に委嘱した。

今期受講者 54名(過去最高)。第3回講義「SDGS 未来都市・真庭市の挑戦」(講師：太田 昇真庭市長)は、真庭市で開催。地元・勝山高校生15名に加えて、全米CLS プログラム25名も合流参加した。

2. 高校生懸賞論文 「私にもできるSDGs」をテーマに募集。(9月6日〆切)

応募は、合計48編(5校)。最優勝賞1、優秀賞2、奨励賞2を表彰した。

3. 高校生グローバルゼミ(11月10日、於：ノートルダム清心女子大)

「自分らしい社会参加を考える～よりよい社会を作るためにできること～」をテーマに議論した。参加 10校 21名。

ファシリテーター 小西 美紀さん(岡山市ESD推進課)

4. ESD Café URA 2019(12月22日、於：交際交流会館・国際会議場)初めての試みとして、2部構成で実施した。

第1部 シンポジウム 「海外体験から何を学んだか」

司会 沖垣 達先生、登壇者6名(海外からの留学生2名を含む)

第2部 発表&TALK テーマ「今、考えていること、思うこと、感じたこと」

参加 14校、78名 世話人・ゲストを加えれば総勢100名を超えた。

活動の成果・効果

塾生を入塾時と卒塾時で比べれば、どの塾生も格段に成長していることが分かる。人が成長するキッカケは、気付きである。気付きは、自らの体験や学び、人との交流の中から得られる。当団体の活動は、種々気付きの場を提供している。

1. 交流

- ・国際塾：毎回の講義や終了後の講師を囲んでの茶話会、入塾パーティー、卒塾パーティーを通じて他校生との交流が促進される。
- ・グローバルゼミ：企画も運営も高校生に一任、その準備の過程で他校生徒との交流が図られる。

2. 気付き

- ・国際塾：受講生と講師の間で活発な質疑が交わされる。



(アクティブラーニング) これらの質疑や茶話会での発言からも多くの気づきが得られる。

- ・グローバルゼミ、ESD café：ディベートや発表からも多くの気づきや学びが得られる。

3. プレゼン力

- ・今の時代は、プレゼン力が大切である。グローバルゼミやESD Café、懸賞論文を通じてプレゼン力を養うことが出来る。

4. ESDやSDGSの発想

- ・グローバル人材たるには、ESDやSDGSの発想が欠かせない。

国際塾や懸賞論文、グローバルゼミ、ESD Café等に参加して、これらの発想を身に付けることが出来る。

5. 成長ぶり

国際塾も16期を数え、今や卒塾生は350名を超えた。社会人として立派に活躍している者も多い。例えば第15期(2018年)国際塾講義「卒塾生に聞く」では、卒塾生2名(総務省地域おこし協力隊サポートデスク、国際弁護士)が講師として登壇、それぞれの成長の軌跡を語ってくれた。

今後の課題と問題点

当フォーラムは、4事業を実施している。中でも国際塾は、16期を数える。

1. 課題

「我々は、良い活動をしている」とメンバー全員は信じ、自負しているが、目的が人の成長だけに、短期間で活動の成果を具体的に提示することは、難しい。

2. 問題

活動の成果を科学的に検証することが、不可欠であると考え、どうしたら良いのであろうか。 アンケートか？

- 代表者：秋正孝一 ●所在地：岡山市北区舟橋町
- TEL：086-206-3355 ●E-MAIL：info@interkids-okayama.com
- URL：http://www.interkids-okayama.com
- 設立年：2015年 ●メンバー数：会員193名 役員25名